

源泉名

日本まん真ん中温泉 子宝の湯

源泉の泉質

アルカリ性単純温泉

Ph値 8.5 知覚的特徴 無色透明 無臭

泉温

湧出地点 25.2℃ 使用位置(浴槽) 41℃

源泉の状況

源泉井戸 1300㍓ 掘削

揚湯方法 動力(ポンプ)揚湯 湧出量(揚湯) 毎分65㍓

浴用の禁忌症

(1)一般的禁忌症

急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)

(2)泉質別禁忌症 なし

浴用の適応症

(1)一般的適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進

(2)泉質別禁忌症 なし

温泉入浴の注意事項

(1)温泉治療を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。

その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。

(2)温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。

(3)温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり(湯さわり又は浴湯反応)が現れることがある。

「湯あたり」の間は、入浴回数を減らし又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。

(4)以上のほか、入浴には、次の諸点について注意すること。

ア 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。

イ 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。

ウ 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない(湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい)。

エ 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。

オ 次の疾患については、原則として高温浴(42℃以上)を禁忌とする。

高度の動脈硬化症 高血圧症 心臓病

カ 熱い温泉に急にはいるとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。

キ 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。

ク 飲酒しての入浴は特に注意する。

ケ 入浴の際には、当館の利用規約、入浴マナーを必ずお守りいただくようお願いいたします。

加水:加温について

当館では源泉温度が低いため、常時、41度まで加温しております。なお加水はしておりません。

温泉使用浴槽について

当館では、内風呂(主浴槽)、大露天風呂に源泉を使用しております。檜風呂・釜風呂は薬湯のため、源泉を使用しておりません。

温泉資源の保守について

当館では源泉量の不足を補うため循環ろ過機を設置しております。限りある源泉を有効に利用するためでもありますので、ご了承下さい。

温泉使用浴槽について

当館では、衛生管理のため、浴槽水の塩素消毒を行っております。

# 温泉成分表

分析機関名称 株式会社 エオネックス(石川県第3号)

分析年月日 平成20年10月8日

## 温泉成分表 (試料1kgの成分 分量及び組成)

陽イオン成分	mg	mval	mval%
リチウムイオン(Li <sup>+</sup> )	0.2	0.03	0.74
ナトリウムイオン(Na <sup>+</sup> )	70.6	3.07	78.34
カリウムイオン(K <sup>+</sup> )	1.0	0.03	0.65
マグネシウムイオン(Mg <sup>+</sup> )	3.6	0.30	7.56
カルシウムイオン(Ca <sup>+</sup> )	9.8	0.49	12.48
ストロンチウムイオン(Sr <sup>2+</sup> )	0.1	0.00	0.06
鉄(II)イオン(Fe <sup>2+</sup> )	0.2	0.01	0.18
陽イオンの合計①	85.5	3.90	100.00

陰イオン成分	mg	mval	mval%
フッ素イオン(F <sup>-</sup> )	1.4	0.07	1.84
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )	1.3	0.04	0.92
硫酸イオン(SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	4.5	0.09	2.34
炭酸水素イオン(HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	230.8	3.78	94.41
炭素イオン(CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	0.6	0.02	0.5
陰イオンの合計②	238.6	4.01	100.00

非解離成分	mg	mmol
メタゲイ酸(H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> )	21.4	0.27
メタほう酸(HBO <sub>2</sub> )	2.5	0.06
非解離成分の合計③	23.9	0.33

溶存物質(ガス性の物を除く):①+②+③=0.3480g

溶存ガス成分	mg	mmol
遊離二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	0.1	0.00
溶存ガス成分の合計④	0.1	0.00

温泉成分総計:①+②+③+④=0.3481g

☆微量成分 (mg)

:アンモニウムイオン(NH<sup>4+</sup>)0.1未満 :バリウムイオン(Ba<sup>2+</sup>)0.1未満  
 :アルミニウムイオン(Al<sup>3+</sup>)0.1未満 :マンガンイオン(Mn<sup>2+</sup>)0.1未満  
 :鉄(III)イオン(Fe<sup>3+</sup>)0.1未満 :臭化物イオン(Br<sup>-</sup>)0.1未満  
 :ヨウ化物イオン(I<sup>-</sup>)0.1未満 :硫化水素イオン(HS<sup>-</sup>)0.1未満  
 :硫黄イオン(S<sup>2-</sup>)0.1未満 :チオ硫酸イオン(S<sub>2</sub>O<sub>3</sub><sup>2-</sup>)0.1未満  
 :硫酸水素イオン(HSO<sub>4</sub><sup>-</sup>)0.1未満 :メタ亜ヒ酸(HAsO<sub>2</sub>)0.1未満  
 :遊離硫化水素(H<sub>2</sub>S)0.1未満 :総水銀(Hg)0.0005未満  
 :総ヒ素(As)0.01未満 :銅(Cu)0.01未満 :鉛(Pb)0.01未満